

令和7年度
Vol.2

一人ひとりの
学ぶ力が活きる!

渋谷区

未来の学校

通信

表紙 ▶ 「未来の学校」にこめられた考え方 (区立学校共通)
P2・3 ▶ オープンした青山キャンパス (広尾中×松濤中)
P4・5 ▶ 準備中の西原キャンパス (代々木中)



広尾中学校・松濤中学校生徒会交流の様子
@青山キャンパス ラーニング・コモンズ

未来の学校で大切にする、7つの力。

～子どもたちが自ら、自分の可能性を発見していくために～

区では渋谷区教育大綱に基づき、
区立学校全校において、
「未来の学校」の実現を推進しています



渋谷区教育大綱

1

基礎

全ての学びの土
台となる、各教科
の基礎的な力

2

共感

相手と同じところ
を見つけて共感
し、違うところ
にも相手の立場に
なって共感できる

3

協働

個性を活かし合
い、話し合いなが
らチームワークを
進める

4

探究

どんな興味も大
切にして、問いを
見つけ、調べる、
追いかける

5

自律

必要なルールに
ついて話し合い、
必要なルールを
自ら作っていく

6

挑戦

やったことのない
ことをやってみる
自分、友達を、讃
えあう

7

創造

変えてみる。組
み合わせてみる。
おもしろい、を大
切にする

青山キャンパスに、こめられた想い。

ひろがるワクワク。

広尾中と松濤中で
チームを分けるの
ではなく合同チームを組
み、文化祭を開催して
みたいと思いました。



広尾中学校 2年



広尾中学校 3年



広尾中学校 3年

ラーニング・コモン
ズは本や資料が充
実し、学習を論理
的に進められるの
で、積極的に利用
したいです。



広尾中学校 3年



広尾中学校 2年



松濤中学校 3年



松濤中学校 3年

体育館が3つもあり、以前
より広々と使えます。広尾
中学校ともスポーツなどを
通して交流したいです。



松濤中学校 2年



松濤中学校 2年



松濤中学校 2年



松濤中学校 3年

廊下まで冷暖房機器が作
動していることに驚きました。
暑さ・寒さを感じずに快適に
学校生活を送れます。

旧校舎ではテニス
コートが砂でした
が、新校舎はハード
コートで、よりテニス
がしやすくなり嬉し
いです。

きれいな校舎と明るい雰
囲気に驚きました。学習に
集中しやすい環境で、モチ
ベーションが上がりました。

渋谷区長 青山キャンパス開校の挨拶
**互いのちがいを認め合い、
協働することで、より学びは深くなる**

令和7年9月1日 青山キャンパス開校式より

青山キャンパスでは、ICT機器やラーニング・コモンズなど先進的
な環境を活用し、創造力を育む学びが展開されています。広尾中と
松濤中の生徒が共に学び、異なる文化を認め合うことで豊かな人
間関係が育まれます。地域との連携も重視し、実社会での経験を
通じて未来への一步を踏み出してくれることを期待しています。



学校のかたちを、一步、未来へ。

もう始まっています。

9月に開校した青山キャンパスでは、地域や地元企業と連携し実社会をリアルに体験できる授業や、外国人講師による実践的な英語授業、生徒が主体となった校則づくりなど、先進的な学びへの取り組みがすでにスタートしています。

1

社会とつながる学び！地域のプロと未来体験

→ 青山キャンパスでは、
社会に開かれた学びを展開しています。

広尾中では、プロバスケットボールチーム「サンロッカーズ渋谷」と連携し、スポーツを通じたキャリア教育や地域貢献の意識を育む活動を実施。さらに、広尾中・松濤中では、ルイ・ヴィトンなどとの協働により、ファッションやブランドの社会的役割を学ぶ探究活動が行われる予定です。これらの取り組みは、子どもたちが地域の魅力や企業の価値を体感しながら、実社会との接点を持つ貴重な機会となっています。



2

“好き”が未来をひらく！探究チャレンジ

→ 生徒の主体的な学びを促すさまざまな
取り組みが課題解決力を育んでいます。

松濤中では、修学旅行や校外学習において、英語と探究を組み合わせた学びを展開。英語でのインタビュー活動やプレゼンテーションを通じて、実践的な言語運用力と探究力を育成しています。広尾中では、生徒一人ひとりが自分の「好き」を活かして人々を笑顔にすることを目的に課題を設定し、調査・分析・発表までを行う「マイプロジェクト」に取り組んでいます。これらの活動は、主体的な学びを促進し、創造力と課題解決力を育む土台となっています。



3

世界と話そう！AI×英語で広がる未来

→ 生徒の英語力とコミュニケーション能力向上を目指し、
高い質の授業、ALT（外国語指導助手）の効果的活用、AI英会話

生徒の英語力とコミュニケーション能力向上を目指し、教員による高い質の授業、ALT（外国語指導助手）の効果的活用、AI英会話など最先端ツールのベストミックスを模索しています。両校ではそれぞれの実態に応じて、朝の時間を活用した「モーニングレッスン」を実施したり、AI英会話アプリを授業や家庭学習で活用したりしています。これにより教員の指導の幅が広がり、子どもたちはより自然に英語に触れ、実践的なコミュニケーション力を身に付けています。



4

わたしたちがつくるよ！未来の学校づくり

→ 青山キャンパスでは、「子どもが主役」の
学校づくりを推進しています。

松濤中の校則の見直しや、広尾中の「カジュアルdays」の導入など、生徒が自ら学校生活を考え、改善する取り組みが進行中。また、子どもたちが最先端のICT環境と学習空間の中で新たな学びにチャレンジする環境を整えるために、専門家がアドバイザーとして両校の教員をサポートしています。これらの環境は、子どもたちが自分の興味を深め、仲間と協働しながらその可能性を最大限に引き出す「未来の学び」の実現を目指しています。



先生も生徒も、

やりたいことがいっぱいある。

青山キャンパスに続いて、令和8年夏、渋谷区スポーツセンターの敷地内に完成予定の「西原キャンパス」。利用開始を前に代々木中学校の駒崎彰一校長と生徒の皆さんに、新しいキャンパスへの期待を語ってもらいました。

生徒が自由に使える空間 「ラーニング・コモンズ」が気になる！

校長 西原キャンパスの完成予想図を見て、みんなはどんなことを感じたかな？

生徒 僕は「ラーニング・コモンズ」が気になりました。これは自習室としても自由に使えるんですね？

校長 個別学習にも使えるし、図書館のように読書スペースとしても使えます。さらに学年の垣根を取り払ったディスカッションやプレゼンスペースとしても使用可能。使い方はみんなの自主性に任されています。

生徒 私の場合、試験前は友達と一緒に図書館で勉強しているのですが、図書館だと会話が禁じられているので、お互いに教え合うことができなくて困っていたんです。そういう意味でもこういうスペースがあるとありがたいですね。でも、それとは別に一人で集中できる場所もあるといいなあ。

校長 確かに集中して勉強したい人のために、間仕切りがついた個別学習ブースを設けるのもよいかもしれないね。ほかに意見はあるかな？

生徒一同 ビーズクッションをもっと増やしてほしいです！

校長 君たちはビーズクッションをいったい何に使うつもりですか？まさか昼寝じゃないよね（笑）。

生徒 違いますよ！普通の椅子よりもビーズクッションのほうがくつろげるし、読書にも集中できそうな気がするんです。

生徒 僕は読書がすごく苦手だけど、ビーズクッションで寝転がって本を読めば、嫌いな読書もはかどるんじゃないかと思います。

校長 なるほど、昼寝ではなく読書に使うのか。じゃあ学校図書館にはビーズク



駒崎校長と代々木中学校生徒の皆さん

ッションが必要だね。今、自分が言った言葉を皆さん絶対に忘れないでくださいね！

教室のレイアウトを自由に変えられるのが便利そう

生徒 僕は教室や廊下の椅子や机にキャスターが付いていて、自由にレイアウトが変えられるのがいいなあと思いました。

生徒 モニターにもキャスターが付いていて移動できるのも便利そうですね。いろんな場所で学習や話し合いができるので、これまでとは違ったスタイルで学習に取り組みそうです。



POINT 1

生徒が主体的に学ぶ ラーニング・コモンズ

グループワーク、プレゼンテーション、個別学習などさまざまな場面で、生徒が自主的に学ぶことができる開放的な空間を整備します。



POINT 2

設備の充実したクラスルーム

教室内には、壁付けのホワイトボードや電子黒板をはじめ、生徒が使用する机は、従来より大きめの机を導入しており、ノートPCと教科書を並べても問題なく使用できます。

POINT 3

「一足制」を導入します

全面ガラス張りで開放感たっぷりのエントランス。上履きを廃止し、外履きのまま入室する「一足制」を導入します。



POINT 4

コミュニケーションの 取りやすい職員室

教員と生徒のコミュニケーションを円滑にするカウンターと、見通しがよい大きな窓により、風通しのよい空間を整備します。



校長 いいところに注目しましたね。これからは少人数でディスカッションするといった対話重視の授業も増えてくるはずなので、そうした授業スタイルにも対応できるようになっているんだよ。

スポーツ×学びが、代々木中学校が目指す 未来の学校のコンセプト

生徒 ひとつ質問があるのですが、西原キャンパスはスポーツセンターの敷地内に造られるんですね。ということは、私たち代々木中学校の生徒はスポーツセンターも使うことができるのでしょうか？



校長 広く地域の皆さんが利用する施設ではありますが、代々木中学校の生徒も一緒に使えるようになる予定です。一方で、新しい校舎では空き教室などを活用して、今まで以上にさまざまなスポーツをみんなに楽しんでもらえるようにしたいなあと思っています。普段あまりなじみのない競技を体験する機会も作りたいですね。

生徒一同 どんなスポーツが楽しめるようになるんですか？

校長 現時点で決定しているのはピククルボールですが、ポッチャやスポーツダーツ、ディスクゴルフ、モルックなどもいずれは楽しめるようになるはずです。のちのちはプロのアスリートを

招いてスポーツ講座を開いたり、スポーツファッションショーを開いたりなんてことも考えているんですよ。

生徒 運動は苦手だったけど、なんだか面白そう。い

ろんなスポーツを試してみるうちに苦手意識はなくなるかも。

生徒 そうやって自信がつくと、運動だけじゃなくて勉強も頑張れるようになるかも！

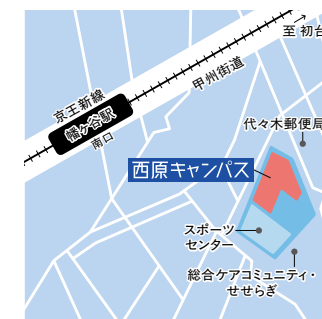
校長 運動に限ったことではないけど、みんなには自分の得意分野を見つけてそれを思いっきり伸ばして欲しいのです。そのためにも新しいキャンパスを上手に利用してほしい。新校舎でのみんなの頑張りににも期待していますよ！



未来の学校

西原キャンパス、 その姿が見えてきた！

西原キャンパスでは、対話や協働を通じて生徒の創造性や探究力を育むための共有スペース「ラーニング・コモンズ」やICT設備などを備えた「クラスルーム」など、充実した学習環境を整備予定です。



所在地 西原1-40の一部
開校日 令和8年夏休明け
構造 3階建て 鉄骨造